

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

平成19年1月25日

上場会社名 **J B C Cホールディングス株式会社**

(コード番号 9889 東証第1部)

(URL <http://www.jbcchd.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 石黒 和義

問合せ先責任者 経理財務担当GM 高橋 保時 (TEL: 03-5714-5171)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
(内容) 引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	74,353	(21.9)	2,326	(35.6)	2,331	(35.2)	1,197	(23.4)
18年3月期第3四半期	60,990	(△ 2.0)	1,714	(4.8)	1,724	(3.7)	970	(24.5)
(参考)18年3月期	86,363		2,365		2,356		1,222	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	56	88	56	52
18年3月期第3四半期	44	03	43	91
(参考)18年3月期	55	49	55	25

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

期中平均株式数(連結) 19年3月期第3四半期 21,052,896株 18年3月期第3四半期 22,040,665株 18年3月期 22,037,716株

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における我が国経済は、高水準な企業収益および良好に推移している業況感を背景とした設備投資の増加ならびに輸出の増加などにより、景気は緩やかに拡大しております。

当第3四半期におきましては、平成19年4月2日を会社分割の期日として当社の連結子会社である日本ビジネスコンピューター株式会社(JBCC)のサービス事業部門が所管する事業を、会社分割の方法により新設する「JBサービス株式会社」に承継させることを決定いたしました。サービス事業に特化した新会社を設立することにより、グループ内における事業会社の戦略的位置付けを明確化するとともに、新会社はテクニカル・プロフェッショナル集団としてJBグループにおけるサービス事業の拡大を推進してまいります。

また、当社が株式を上場しております東京証券取引所におきまして、当社株式の所属業種は従来「卸売業」に分類されておりましたが、平成18年10月2日より「情報・通信業」に変更され、名実ともに情報技術企業としての基盤を確立することができました。

財務面におきましては、平成18年7月27日開催の取締役会決議に基づき、平成18年11月29日までに、自己株式996,700株の取得を行いました。

当第3四半期における事業分野別の概況につきましては、以下の通りです。

情報ソリューション分野におきましては、IBM System i（統合アプリケーションサーバー）を中核としたレガシーマイグレーションビジネス（汎用機からの新型サーバーへの移行案件）および災害対策システムなどの新規ビジネスの獲得により順調に推移しました。さらに、導入運用サービスや運用保守サービスなどのマネジメントサービスが堅調に推移しました。また平成17年12月に連結子会社となりましたNSIS株式会社の上高が当第3四半期において寄与したこともあり、売上高は539億12百万円（前年同期比34.3%増）となりました。

システム・ディストリビューション分野におきましては、新規のビジネスパートナー様の開拓および定着化、独自にご提供する戦略商品の品揃えの拡充、各種ソリューションに関する研修サービスの整備等、販売支援体制の確立を進めてまいりました。これらの結果、IBM System i、IBM System p（UNIXサーバー）、IBM System storage（ストレージ）を中心に製品販売は順調に推移したものの、サービス関連売上が減少したため、売上高は69億60百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

ITサプライ分野におきましては、大口ユーザー向け案件の貢献によりプリンターサプライ、周辺機器及びソフトウェア等が大幅に伸びました。また、重点施策として進めているビジネスパートナー様向けweb購買ソリューションが奏功し、文具オフィス用品を含めた販売が好調に推移しました。これらの結果、売上高は80億59百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

情報機器製造分野におきましては、高速・高機能プリンタ、環境配慮型両面サーマルプリンタ、プリンティングソリューションおよびシンクライアントをはじめとするセキュリティに関する研究開発を進めました。ビジネス面におきましては、新規大型案件が軌道にのり寄与したこともあり、売上高は54億21百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高743億53百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益23億26百万円（前年同期比35.6%増）、経常利益23億31百万円（前年同期比35.2%増）、四半期純利益11億97百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	40,954	14,334	35.0	707.68
18年3月期第3四半期	43,746	15,694	35.9	709.87
(参考)18年3月期	41,758	14,745	35.3	694.55

期末発行済株式数(連結) 19年3月期第3四半期 20,255,530株 18年3月期第3四半期 22,108,647株 18年3月期 21,229,827株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,539	△140	△2,528	4,287
18年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)18年3月期	1,473	△2,854	1,173	5,416

(注) 当期より第3四半期の連結キャッシュ・フローの状況を開示しているため、平成18年3月期第3四半期の記載を省略しております。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産は409億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億3百万円の減少となりました。主な増減は、流動資産では現金及び預金の減少11億29百万円、受取手形及び売掛金の減少6億41百万円、たな卸資産の増加6億63百万円などがあり、流動負債では、短期借入金の減少10億17百万円、未払費用の減少8億71百万円などがありました。

②キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ11億29百万円減少し、42億87百万円となりました。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、15億39百万円の収入となりました。増加要因は主として税金等調整前四半期純利益23億45百万円、売上債権の減少3億7百万円など、減少要因は主として、たな卸資産の増加6億63百万円、法人税等の支払い12億30百万円などによるものです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、1億40百万円の支出となりました。増加要因は主として有形固定資産の売却3億26百万円、投資有価証券の売却55百万円など、減少要因は主として投資有価証券の購入2億87百万円、有形固定資産の購入1億54百万円、無形固定資産の購入1億14百万円などによるものです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、25億28百万円の支出となりました。これは主として短期借入金の返済10億22百万円、配当金の支払い4億75百万円、自己株式の購入10億38百万円などによるものです。

○添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書、（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書、販売の状況（連結）

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	100,000	3,000	1,500

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期） 74円 05銭

（注）本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月期の業績予想につきましては、平成18年10月30日の中間決算短信と同時に公表いたしました業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

第3四半期の業績は、企業の活発な設備投資意欲に支えられて、上半期に引き続き情報ソリューション分野を中心として予想を上回る順調な成果を上げることができました。これにともない通期の業績予想を再度上方修正するものであります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

期 別 科 目	前第3四半期末 (平成17年12月31日)	当第3四半期末 (平成18年12月31日)	比較増減 (△印は減)	前期末 (平成18年3月31日)
資産の部				
I 流動資産				
現金及び預金	7,104	4,287	△ 2,817	5,416
受取手形及び売掛金	19,022	18,771	△ 250	19,413
たな卸資産	5,991	6,496	504	5,832
その他の	2,512	3,279	766	2,851
貸倒引当金	△ 35	△ 33	2	△ 41
流動資産合計	34,595	32,801	△ 1,794	33,472
II 固定資産				
(有形固定資産)	1,489	1,206	△ 283	1,249
(無形固定資産)	2,122	1,732	△ 390	1,941
(投資その他の資産)	5,538	5,215	△ 323	5,094
その他の	5,662	5,337	△ 325	5,190
貸倒引当金	△ 123	△ 122	1	△ 95
固定資産合計	9,150	8,153	△ 997	8,285
資産合計	43,746	40,954	△ 2,791	41,758

(単位：百万円、端数切捨て)

期 別 科 目	前第3四半期末 (平成17年12月31日)	当第3四半期末 (平成18年12月31日)	比較増減 (△印は減)	前期末 (平成18年3月31日)
負債の部				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	12,132	13,694	1,561	13,386
短期借入金	5,051	2,022	△ 3,029	3,039
未払法人税等	576	872	295	854
未払費用	1,744	1,398	△ 345	2,270
販売等奨励引当金	38	59	21	50
その他の	3,686	3,524	△ 161	2,665
流動負債合計	23,229	21,571	△ 1,657	22,266
II 固定負債				
長期借入金	14	-	△ 14	12
退職給付引当金	4,589	5,045	455	4,726
その他の	76	3	△ 72	7
固定負債合計	4,680	5,048	368	4,746
負債合計	27,910	26,620	△ 1,289	27,012
少数株主持分				
少数株主持分	142	-	-	-
資本の部				
I 資本金	4,687	-	-	4,687
II 資本剰余金	4,760	-	-	4,760
III 利益剰余金	6,590	-	-	6,830
IV その他有価証券評価差額金	310	-	-	169
V 為替換算調整勘定	3	-	-	0
VI 自己株式	△ 658	-	-	△ 1,702
資本合計	15,694	-	-	14,745
負債、少数株主持分及び資本合計	43,746	-	-	41,758
純資産の部				
I 株主資本				
資本金	-	4,687	-	-
資本剰余金	-	4,760	-	-
利益剰余金	-	6,430	-	-
自己株式	-	△ 1,604	-	-
株主資本合計	-	14,274	-	-
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	-	60	-	-
為替換算調整勘定	-	△ 0	-	-
評価・換算差額等合計	-	60	-	-
純資産合計	-	14,334	-	-
負債及び純資産合計	-	40,954	-	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

期 別 科 目	前第3四半期		当第3四半期		比較増減 (△印は減)	前期	
	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日			自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
		%		%			%
I 売上高	60,990	100.0	74,353	100.0	13,363	86,363	100.0
II 売上原価	49,305	80.8	60,770	81.7	11,465	70,220	81.3
売上総利益	11,685	19.2	13,583	18.3	1,898	16,143	18.7
III 販売費及び一般管理費	9,970	16.4	11,257	15.2	1,287	13,777	16.0
営業利益	1,714	2.8	2,326	3.1	611	2,365	2.7
IV 営業外収益	49	0.1	47	0.1	△ 2	59	0.1
V 営業外費用	39	0.1	41	0.1	1	68	0.1
経常利益	1,724	2.8	2,331	3.1	606	2,356	2.7
VI 特別利益	495	0.8	39	0.1	△ 455	706	0.8
VII 特別損失	57	0.1	26	0.0	△ 30	331	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,162	3.5	2,345	3.2	182	2,730	3.2
法人税、住民税及び事業税	1,064	1.7	1,147	1.6	83	1,254	1.5
法人税等調整額	-	-	-	-	-	129	0.2
少数株主損益	127	0.2	-	-	△ 127	123	0.1
四半期(当期)純利益	970	1.6	1,197	1.6	226	1,222	1.4

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	
	当第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	前期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
	金額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,345	2,730
減価償却費	259	459
のれん償却額	167	-
連結調整勘定償却額	-	298
退職給付引当金の増加額	318	380
営業譲渡益	-	△ 422
売上債権の減少額(△は増加額)	307	△ 235
たな卸資産の増加額	△ 663	△ 155
仕入債務の増加額	188	225
未払費用の増加額(△は減少額)	△ 875	101
その他	729	△ 742
小計	2,777	2,640
法人税等の支払額	△ 1,230	△ 1,149
その他	△ 7	△ 18
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,539	1,473
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 154	△ 476
有形固定資産の売却による収入	326	393
無形固定資産の取得による支出	△ 114	△ 118
投資有価証券の取得による支出	△ 287	△ 287
投資有価証券の売却による収入	55	708
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△ 3,232
子会社株式の追加取得による支出	-	△ 379
営業譲渡による収入	4	538
その他	29	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 140	△ 2,854
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	3,000
短期借入金の返済による支出	△ 1,022	△ 416
長期借入金の返済による支出	△ 8	△ 47
自己株式の購入による支出	△ 1,038	△ 1,070
自己株式の売却による収入	15	94
配当金の支払額	△ 475	△ 385
その他	△ 0	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,528	1,173
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 4
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 1,129	△ 212
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,416	5,629
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,287	5,416

4. 販売の状況（連結）

（単位：百万円、端数切捨て）

事業部門の名称	期 別	前第3四半期	当第3四半期	前期
		自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日	自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日
		金 額	金 額	金 額
情報ソリューション		40,150	53,912	58,442
システム・デバイスソリューション		8,427	6,960	11,092
IT サプライ		7,338	8,059	10,134
情報機器製造		5,074	5,421	6,693
合 計		60,990	74,353	86,363

以 上